

田植えの進捗状況（5月18日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 田植えの進捗状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 5月18日現在の田植えの進捗率は県全体で60%となっています。平年に比べやや遅いペースですが、概ね適期での移植が進んでいます。
- (2) 地帯別では、北上川下流71%、東部67%で盛期を過ぎ、今後終期を迎える見込みです。また、北上川上流は42%でほぼ盛期に達しており、北部は16%で今後盛期を迎える見込みです。
- (3) 各地域とも、概ね適期内（5月25日まで）に終期（90%）を迎える見通しです。

表 地帯別田植えの進捗状況（5月18日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	田植え進捗率 (%)					田植え時期 (月/日)		
	過年次同期					平年値		
	本年	平年	R4	R3	R2	始期	盛期	終期
北上川上流	42	49	46	48	46	5/16	5/20	5/26
北上川下流	71	80	76	78	80	5/9	5/15	5/22
東 部	67	69	72	76	71	5/11	5/16	5/23
北 部	16	17	27	23	10	5/19	5/23	5/28
県 全 体	60	68	66	67	67	5/11	5/17	5/23

- 1) 平年値は平成25年～令和4年の10カ年平均
 2) 始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了
 3) 県全体の数字は、各地帯の作付面積比による加重平均

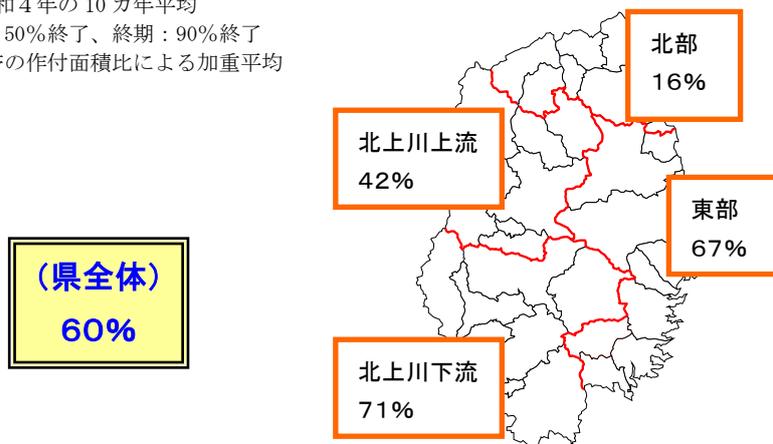


図 地帯別田植え進捗率（5月18日現在：各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

(1) 田植え作業

- 田植え適期 …… 北上川下流：5月10～20日、その他地域：5月15～25日
⇒ できるだけ風の少ない暖かい日を選択
- 植付深 …… 稚苗2cm、中苗2.5～3cm程度
- 栽植密度 …… 極端な疎植を避ける
⇒ 特に「金色の風」「銀河のしずく」は60～70株/坪を遵守

(2) 田植え直後の管理

葉先が2～3cm水面に出る程度の深水管理で苗を保護する（活着までの目安：概ね3～4日）。

(3) 活着後の管理

分けつ促進のため、浅水管理を基本とする（気温15℃以下または強風の日、葉先が水面に出る程度の深水管理で苗を保護）。